

JR連合第22回大会開催！ 民主化闘争の進展を確認 さらなる組織の前進を！！

JR東日本ユニオン・仙台地本につづき、 東京地本でも1名の組織拡大を果たす！！

前号 (No878. 2013年6月17日) で民主化三単組が揃って拡大したことを伝えたが、JR東日本ユニオンは、JR連合第22回定期大会でさらに1名の組織拡大を報告した。仙台地本で6月15日に助役がJR東労組を脱退し、加入したばかりだが、東京地本においても、6月17日付で尾久駅勤務の1名がJR東労組から脱退、加入したことが報告され、JR連合第22回定期大会に花を添えた。

昨年大会以降、貨物鉄産労は青年を中心に、 JR北労組は自動車支部を中心に二桁の組織拡大！！

貨物鉄産労は、昨年のJR連合第21回定期大会以降、8名の若い青年組合員を含む10名の組織拡大を図ってきたが、6月17日付で23歳の青年組合員がJR貨物労組を脱退、加入し、合計11名もの組織拡大を果たしている。また、JR北労組においても、昨年の大会以降、自動車支部を中心に昨年度の新規採用者を含めた13名の組織拡大を果たしている。

民主化三単組は、労政転換の会社姿勢が全く見られないうえに、最大労組が平和共存を否定する厳しい組織環境の中で、多くの組合員による積極的で献身的な世話役活動と声かけの取り組みが続けられている。組合員不在のJR総連に対する、JR総連組合員の不満と疑念の渦が広がる中、そうした取り組みの成果が二桁の組織拡大に結びつき、民主化闘争は着実に前進している。

支援単組は今年度も新採全員加入を果たす！ 他労組からの組織拡大も！！

支援単組であるJR東海ユニオン・JR西労組・JR四国労組・JR九州労組は、現在いずれも組織率は90%に達している。支援単組は、今年度の新規採用者1,912名の全員加入を果たすとともに、昨年の大会以降、組織拡大対象者が少ないながらも、支援単組全体で、JR総連2名、国労6名をはじめとする11名の組織拡大を図っており、民主化闘争の側面的支援を行っている。

JR連合10万人組織にむけ、更なる飛躍を果たそう！